

品種解説：「おきにいり」

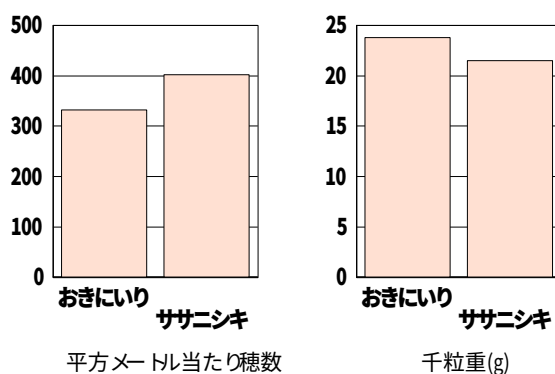
概 要：本品種の耐冷性は「トドロキワセ」には及ばないが、「コガネヒカリ」「あきたこまち」よりやや強い。名前の意味は、“美味しくて定番として食べ続けたいお米であること”を表現する。

1. 来歴の概要

いもち病抵抗性、耐冷性が強く、比較的良食味の「中部 47 号」を母とし、穂いもち抵抗性が比較的強く、良食味で多収の「奥羽 313 号」を父として、1984 年に東北農業試験場で交配された。1992 年に「奥羽 346 号」の地方番号が付けられ、1996 年に水稻農林 342 号として登録された。

2. 形態的特性

- ・草 丈：「キヨニシキ」「ササニシキ」に比べるとやや長く、分けつは少ない。
- ・稈 長：「トヨニシキ」「ササニシキ」並みにやや長稈である。
- ・穂 長：「トヨニシキ」「ササニシキ」並みである。
- ・穂 数：「ササニシキ」より少なく、「トヨニシキ」並みかやや少ない中間型である（下図参照）。
- ・粒 大：「トヨニシキ」「ササニシキ」よりやや大きく、粒厚が厚く、千粒重もこれらの品種よりやや大きい（下図参照）。



3. 生態的特性

- ・出穂期・成熟期：「トヨニシキ」「ササニシキ」とほぼ等しく、中生の晩である。
- ・収 量：「トヨニシキ」より高く、特に多肥条件では「キヨニシキ」「ササニシキ」に比べても多収である。
- ・耐倒伏性：「トヨニシキ」並みかやや強い。
- ・葉いもち抵抗性：「トヨニシキ」「トドロキワセ」と同程度かやや劣る。
- ・穂いもち抵抗性：「トヨニシキ」「トドロキワセ」並みである。
- ・耐冷性：「トドロキワセ」には及ばないが、「コガネヒカリ」「あきたこまち」よりやや強い。
- ・穂発芽性：「あきたこまち」並みである。

特 性	おきにいり	ササニシキ
耐冷性	強	やや弱
耐倒伏性	強	弱
葉いもち抵抗性	やや強	やや弱
穂いもち抵抗性	強	弱
穂発芽性	やや難	やや易

4. 品質・食味特性

- ・粒揃いはよく、腹白の発生も少ないが、高温登熟など条件によっては心白や背白が発生することもある。
- ・玄米の外観品質は「トヨニシキ」より劣り、「ササニシキ」並みの“上の下”である。
- ・食味は「キヨニシキ」「トヨニシキ」「サトホナミ」よりは明らかに優り、「あきたこまち」「ササニシキ」と同等の良食味で、「ひとめぼれ」「コシヒカリ」に近い。

5. 適地等

- ・東北地方中南部に適する。

6. 栽培上の注意

- ・耐倒伏性、いもち病抵抗性、白葉枯病抵抗性が強く、茎葉や穂が登熟後期まで鮮麗であるので、刈り取り適期を逸しないようにする。
- ・耐倒伏性は強であるが、稈長が長いので極端な多肥栽培は避ける。
- ・高温登熟では品質がやや劣るので、適地の南部平坦地では早植えしない。

<参考資料>

農林水産省農林水産技術会議事務局（平成8年8月）：平成8年農林水産省育成農作物新品種（夏作物・園芸作物）。